

各 位

東京都新宿区新宿二丁目1番11号
株式会社アイフリークモバイル
代表取締役社長 上原 彩美
(コード番号：3845 JASDAQ)
問い合わせ先 管理部長 三宅 公 崇
E - m a i l ir3845@i-freek.co.jp
U R L <https://www.i-freek.co.jp/>

(開示事項の経過)

株式会社 HashPort との NFT 分野における

新たな取り組み内容の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年12月8日に「NFT SaaS「HashSuite」を採用した NFT マーケットプレイスの開設決定と 株式会社 HashPort と連携した NFT 分野における新たな取り組みに関するお知らせ」の通り発表いたしました、株式会社 HashPort (以下「HashPort 社」) との取り組み内容について一部変更することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. HashPort 社との NFT 分野における取り組み内容の一部変更の理由

ブロックチェーン技術を基盤とする分散型の取引機能を伴う次世代インターネットである Web3.0 (以下「Web3.0」) は、今後のインターネット社会の変革に繋がる技術トレンドとして、現在その動向が注目されています。現代 IT 社会における Web3.0 のかかる重要性に照らし、当社及び HashPort 社にて協議を重ねた結果、Web3.0 時代のコンテンツ流通のハブとなる「Palette (パレット)」と共に、CREPOS クリエイターの価値を最大化する取り組みを HashPort 社と共同で推進していくために方針転換を行いました。これにより当社は同社とより一層強固な関係構築を目指してまいります。

2. HashPort 社との取り組み内容の一部変更の内容

当初より予定しておりました NFT マーケット「CREPOS NFT マーケット(仮)」を開設するのではなく、HashPort 社の NFT 事業子会社である HashPalette 社が 2022 年 4 月 1 日にサービスリリースする NFT マーケットプレイス「PLT Place」にて CREPOS クリエイターの NFT を配信してまいります。

NFT に特化したブロックチェーン「Palette (パレット)」を採用し、NFT 事業における革新可能性をより多く内包した「PLT Place」では、クリエイターの NFT が購入できるだけでなく、NFT 購入者の方に喜んでいただける特典などを企画し、クリエイターの価値の最大化に向けて HashPort 社と取り組んでまいります。

また、将来的には、当社のメタバース構想に繋がる様々なコンテンツの提供も行い、クリエイターがより幅広く活躍できる場を創造していく予定です。

3. 相手先の概要

株式会社 HashPort について

(1) 名称	株式会社 HashPort	
(2) 所在地	東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 10 階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉田 世博	
(4) 事業内容	ブロックチェーンに関するコンサルティング事業 暗号資産交換業向けウォレットシステム開発事業 NFT システム開発事業	
(5) 資本金	49,000 千円	
(6) 設立年月日	2018 年 7 月 13 日	
(7) 大株主及び持株比率	先方からの強い要請により非開示とさせていただきます。	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※当該会社の財務情報については先方からの強い要請により非開示とさせていただきます。

株式会社 HashPalette について

(1) 名称	株式会社 HashPalette	
(2) 所在地	東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 10 階	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉田 世博	
(4) 事業内容	ブロックチェーンに関するコンサルティング事業 NFT システム開発事業	
(5) 資本金	70,000 千円	
(6) 設立年月日	2020 年 3 月 2 日	
(7) 大株主及び持株比率	先方からの強い要請により非開示とさせていただきます。	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※当該会社の財務情報については先方からの強い要請により非開示とさせていただきます。

4. 今後の見通し

本件による当社の当面の連結業績に与える影響は軽微であります。今後の中長期的な収益の拡大に繋がるものと考えております。今後開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以上